

感染管理認定看護師の活動紹介

感染管理認定看護師 齋藤 敦子 × 伏見 華奈
(2012年取得) (2015年取得)

感染管理認定看護師は、院内の感染のリスクを低減するためにICT (Infection Control Team) の様々な職種のメンバーと協働して教育や予防活動を行っています。

また、院内だけでなく地域での勉強会開催などを通じ、感染予防の啓発に努めています。



当院の感染防止対策室には、2名の感染管理認定看護師がいます。主な役割として、①医療関連感染の発生の監視、②感染予防・対策、③職員健康管理、④職員への感染対策教育・指導など多岐に渡ります。院内では、各部門・部署のラウンドや院内研修会の企画・運営、他施設と地域連携カンファレンスを行うなど、院内外で活動しています。



Fushimi

エビデンスに基づいた感染対策を行うことで、治療や看護をより良い方向に導いていけることに魅力を感じ、感染管理認定看護師になりました。私たちの仕事は他の認定看護師とは異なり、患者さんと直接接することはほとんどなく、多職種と協力してシステムづくりをすることがメインとなります。感染対策は病院全体に関わりますので、単に提案するだけでなく、根拠を示し、実行に移すために働きかけなければなりません。その点難しい仕事ですが、やりがいも感じます。また、効果的な感染対策を行うためには、現状を把握する必要があるので常に細かな情報収集も行っています。このような活動とスタッフの協力により、感染対策の効果は着実に出ています。これからも患者さん・来院者・医療従事者・施設・環境を対象に、感染に対するリスクを最小限に抑えるため、実践的な感染管理を目指して取り組んでいきたいと思っています。

感染対策で気になることがありましたら、お気軽に声をかけてください。

Saito

現場での感染対策上の問題点など職員とコミュニケーションを図りながら改善に向け日々業務に取り組んでいます。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、感染予防としてマスク着用や手指消毒の実施、人との接触の制限など、今までと異なる日常に不安を感じながら過ごされている方が多いと思います。どこに感染リスクがあるかわからない今日、正しい感染対策の教育・実践を行うことで、入院生活を送る患者さんやそのご家族の方の不安を少しでも軽減し、職員を含めたすべての方に安心を届けられるよう貢献したいと考えております。

